

T-ACT

つくばアクションプロジェクト 発進!

2008 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
共創的コミュニティ形成による学生支援 ～学生・教職員が一体となった新たな自主的活動の創生

No.1

発行: つくばアクションプロジェクト運営委員会

発行日: 2008年12月1日

連絡先: T-ACTフォーラム Tel.029-853-2222, 2269

URL: <http://www.t-act.tsukuba.ac.jp>

E-mail: forum@t-act.tsukuba.ac.jp



筑波大学
University of Tsukuba

T-ACT つくばアクション プロジェクト スタート!!

あなたの「やってみたい」を応援します

学群生の皆さん、大学院生の皆さん、留学生の皆さん。筑波大学に属する誰もが参加できる「つくばアクションプロジェクト」(略称T-ACT)が2008年10月からスタートしました。なにか新しいことをやってみたい、小さなことでも自分のアイデアを実行したい、授業やサークル以外の色々な活動に参加してみたい、そんな気持ちがきっとあなたの胸の中にもあるはず。T-ACTはあなたのそうした「やってみたい」を応援する全学的な新プロジェクトです。

T-ACTで未来を創る

「つくばアクションプロジェクト」は教職員による準備チーム(「チームT-ACT」)によって構想が練られ、この案が文部科学省の募集した「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(通称学生支援GP)に採択されて開始されることになったものです。2008年度から4年間補助金を受け、これに大学側の自己資金を加えて展開します。そして将来に渡って長く継続することを目指しています。

筑波大学の学生と教職員が創り出す新たな

な大学像は、全国の大学のモデルとして期待されています。皆さん一人一人のアクティブなパワーが、皆さん自身の未来を創り、筑波大学の新しい姿を生み出します。さあ、「アクション」を起こしましょう!

T-ACTの活動例

学生の皆さんが自主的な活動を展開できるようにサポートする枠組みがT-ACTです。学生が立案する活動の一つ一つを「T-ACTアクション」と呼びます。

想定しているのは、数ヶ月以内の比較的短期の活動です。一回きりのイベントでも、何回かにわたって開催されるものでもOKです。学内の活動でも、地域や学外に広げた活動でもよいでしょう。皆さんの専門を生かしたもので趣味に関連するものでもよいし、大規模な企画もほんの小さなプランも大歓迎です。

ほかに教職員が立案する「T-ACTプラン」も設けますので、これに協力したり参加してみたりするのもよいでしょう。

学内ではこれまですでに色々な活動が展開されていて、前例として参考になります。筑波大学ブランドのグッズを考案したり、市

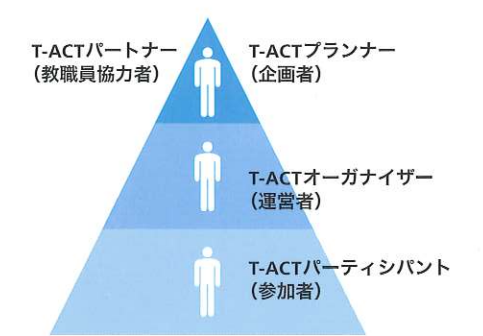
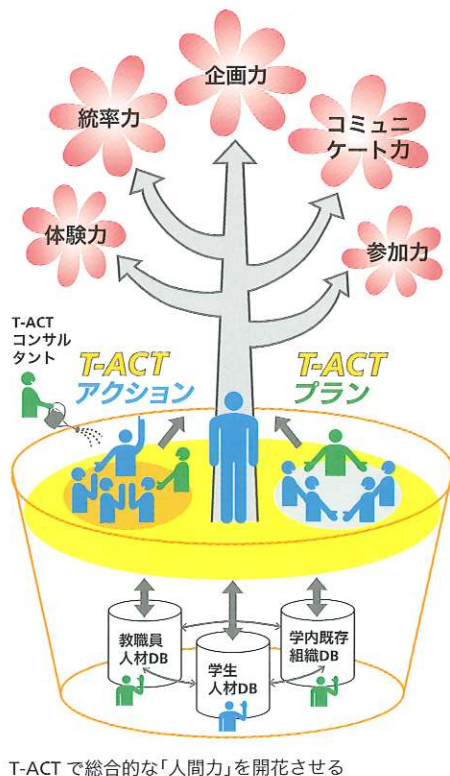
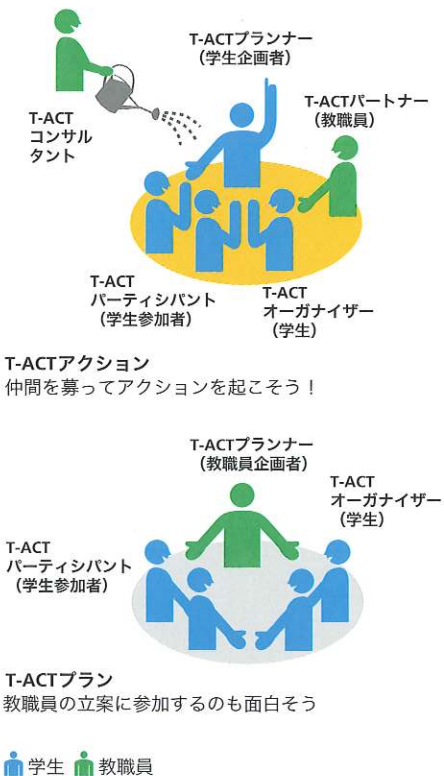
民向けの講座を開いたり、学内の人工池(「天の川」)清掃を実施したり、また、市とタイアップしたスポーツイベントの開催・運営や町並み保全のプロジェクトなど、実に多様な事例があります。さて、これからどんな活動をやりたいですか?

なぜT-ACTが必要なのでしょうか

筑波大学ではサークル活動も盛んですし、その他の自主的な活動も多彩に展開されています。それならば、T-ACTという枠組みは何のために作られたのでしょうか。

面白そうなイベントだけ知ったときにはもう終わっていた、皆さんにはそんな経験はありませんか?面積も広大で組織も多岐におよぶ大組織である筑波大学では、どこで何が行われているのか、情報が伝わらないことがよくあります。活動が特定の組織や狭い人間関係に限られていることもしばしばです。

T-ACTは、自主的活動の企画や実施の広報を組織的にバックアップし、学生および教職員が新たな交流を広げて一緒に活動することを支援します。学生・教職員の皆さんに登録してもらって人材データベースを構築



各活動の内部組織のイメージ図



相談はスチューデントプラザ内のT-ACTフォーラムへ

チームT-ACT(つくばアクションプロジェクト運営委員会):

腰塚武志(学生生活担当副学長)、加賀信広(学生生活支援室長)、宮田政拓(学務部長)、宮坂重喜(学務部次長)、杉江征(人間総合科学研究科・心理)、三輪佳宏(同・基医)、田中佐代子(同・芸術)、佐藤純(同・心理)、榎村正美(同・心理)、中内靖(システム情報工学研究科・知機)、青柳悦子(人文社会科学研究科・文言)

するほか、T-ACT 専用の WEB サイトや学内数箇所に設置する電子掲示板でリアルタイムの活動情報を提供します。

T-ACTなら安心してチャレンジができます。なにか活動をやってみたいという気持ちはあっても、一体どうやったらいいのか、また、予想外の問題が起きてしまったらどうしたらいいのか、など、躊躇する理由は一杯あるでしょう。

T-ACT では、専任教員(T-ACT コンサルタント)が学生プラザ内のT-ACT フォーラムに常駐して、アイデアの実現性、人材集め、活動計画、学外活動の際の注意点ほか、活動の企画・準備・実施に関するあらゆる事柄の解決策と一緒に考えてくれます。必要な場合には、法律相談の顧問弁護士の助言を得ることもできます。また各アクションに最低1名は教職員が関わるので、相談に乗ってもらったり、活動が社会規範から外れないよう日配りしてもらえます。

T-ACT での活動には、学生全員が加入している学生教育研究災害傷害保険が適用されますから、皆さん自身が活動中に怪我をしたときにも安心です。

こんなメリットも

T-ACT では活動資金の直接提供は行いません。しかし、必要な資金の調達方法についてコンサルタントが相談に乗り、対処法と一緒に探してくれます。また文具の提供や備品の貸し出し、コピーサービスなどの活動支援が得られます。

アクションの展開方法

活動の展開手順は以下の通りです。

- ①発案する学生(「プランナー」)が、企画書を提出し、T-ACT のサイトに登録する。
 - ②教職員最低1名に「パートナー」として加わってもらう。
 - ③口コミやデータベースを通じて、活動を運営する仲間(「オーガナイザー」)を募る。
 - ④参加者(「パーティシパント」)を募る。
 - ⑤「アクション」実施。
 - ⑥プランナーが活動報告を T-ACT のサイトに載せる。
- こうしてWEB サイトには活動報告が蓄積されていきます。

「T-ACT 認定証」の発行と学長表彰
皆さんが「プランナー」「オーガナイザー」

「パーティシパント」として行ったすべてのアクションを記した「認定証」を年度末や申請に応じて一人一人に発行します。自分の大学生生活の証として下さい。就職活動の際にも生かせそうです。

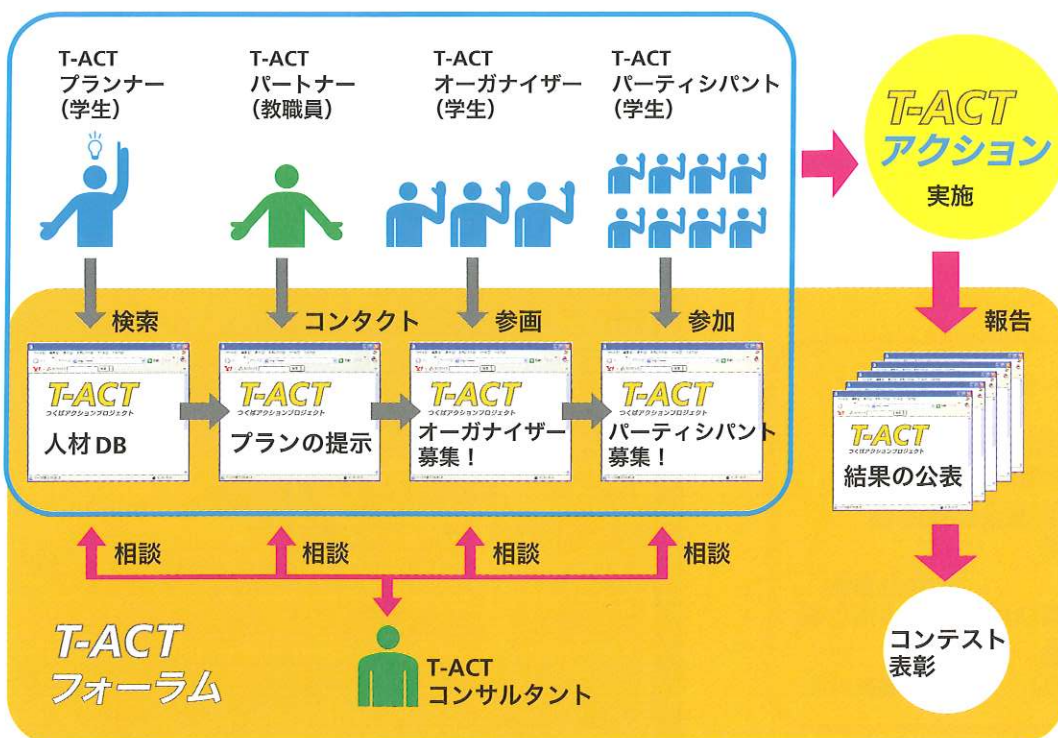
また年度末には活動コンテストや優秀な活動に対する学長表彰も行う予定です。

失敗を恐れずに

小さなチャレンジがきっとあなたの大学生活を輝かせてくれます。うまくいっても、それほどうまくいなくても、よいではありませんか。ぜひ、活動を創案したり、様々なアクションに参加してみてください。「やってみよう」が「やった!」になる快感を、筑波大学の仲間と一緒に楽しみましょう。

本格始動は2009年春から!

T-ACT は2009年春に本格的に始動し、一般の企画募集が始まります。どうか心待ちにしてください。2008年度は準備期間ですが、試行的にいくつかの企画を実施します。最新の情報はこのパンフレット表紙のアドレスにアクセスしてご覧下さい。



T-ACT 認定証はあなたの活動履歴書

T-ACT つくばアクションプロジェクトにご協力下さい!!

筑波大学を学生・教職員の「共創」の場に

T-ACTは、筑波大学に所属するすべての学生(学群生・大学院生・留学生など)と教職員のみなさん(非常勤の教員・職員を含む)に、人材と能力の宝庫である「筑波大学」という場をもっと楽しみ、活用してもらおうとするものです。

教員も職員もせっかく大学で働いているのに、多様な魅力をもった学生たちとの人間的コミュニケーションのチャンスは、意外に限られてきたのではないのでしょうか。

筑波大学をその構成員みな多様な関わり合いのなかで活性化したい、それがT-ACTの願いです。

教職員の自主活動を大学が支援・奨励

T-ACTのなかでは教職員の皆さんも学生同様、「プランナー」や「オーガナイザー」になっていただけます。むろん「パーティシパント」として様々な企画・活動に参加することも大いに推奨されます。ぜひ皆さんの趣味や関心、問題意識や専門性を生かして、T-ACTの

諸活動に参画して下さい。

通常業務もますます多忙化するなかでこうした活動を行うには、意識の改革も必要となると思われます。

T-ACTは学長、副学長など大学執行部および事務局の賛同を得て展開されるものです。現在の大学では、教職員と学生との交流の意義はますます高まっています。筑波大学では、教職員がT-ACTの諸活動に参加しやすいような職場の環境作りが今後推進されます。

T-ACT「パートナー」の役割

T-ACTの一つ一つの活動には、教職員が「パートナー」として付くことになっています。活動を応援するとともに、それが適切なものであるかを判断し健全な運営を促進するためには教職員「パートナー」の存在は欠かせません。「パートナー」を引き受けた教職員が活動にコミットする程度は、さまざまであってかまいません。ぜひご協力下さい。

教職員の業績評価の際にも、「パートナー

を始めT-ACTへの参加を、積極的な評価材料としてアピールしていただけます。

それぞれの活動(「アクション」)については企画時からT-ACT専任教員「T-ACTコンサルタント」が把握しておりますので、疑問や問題が生じた場合など、いつでもご相談いただけます。どうか率先して「パートナー」をお引き受け下さるようお願いいたします。

大学で可能性を広げる

筑波大学の学生がもっと生き生きと輝き、筑波大学全体にこれまで以上に活気があふれるようにするために、教職員の方々一人一人のお力が欠かせません。そして大学は、そこに関わるすべての方々の可能性を広げるすばらしい器としてあります。どうぞT-ACTに御参画いただき、教職員の方々の「大学生活」を充実させて下さい。

教職員の皆さんも一緒にT-ACTを楽しみましょう。



T-ACTコンサルタント
櫻村正美

私の仕事は、皆さんの「やってみよう!」の気持ちをアクションに移すための実現可能性を高める案内人です。つまり、皆さんの仲間のうちの1人です。皆さんの中に眠る「何かしてみたい」の種が芽を出し膨らみ、やがて花が咲き開くよう支援いたします。中には「何かしたいけど何をしたいかわからない...」と思う

方もいるかと思います。そんな場合、「何」を始めるか?から一緒にスタートしませんか?始める前から「無駄」と決めつけるより、「やってみないとわからない」の精神で一度フォーラムにお越しください。そこから何かが始まるかもしれません。皆さんの生の声が力になります、ぜひお待ちしております。



T-ACT事務補助者
加藤康恵

事務補助の加藤です。申請の手続き、事務用品の貸し出し等を担当します。みなさまが充実した活動ができるよう、微力ながら全力でお手伝いします。ぴかぴかのT-ACTフォーラムでお待ちしております!

委員長(学生担当副学長)

コアチーム

- コンサルタント
- 専門オーガナイザー
- 事務補助者
- 法律相談弁護士

サポートチーム

- 学生生活支援室員
- 学生担当教員
- サポート教員(3名)
- システム班(5名)
- 学生委員(5名)
- 学務事務員(2名)

	H20	H21	H22	H23
組織・システム	人的組織・実施体制作り / T-ACTフォーラム開設			
	DB構築	DB運用・バージョンアップ		
	学生支援広報システム設置・運用・改訂			
	教職員のFD研修 / パートナー教職員の研修会・報告会			
T-ACT実施	T-ACTプラン(教職員による種々の自発的活動)			
	T-ACTプラン(総合科目)			
	T-ACTアクション(学生による種々の自発的活動)			
広報	学内説明会	学内・地域広報		
評価	専門家委員・地域・外部評価委員(PCDAの実施)			
				成果報告 継続的実施の検討